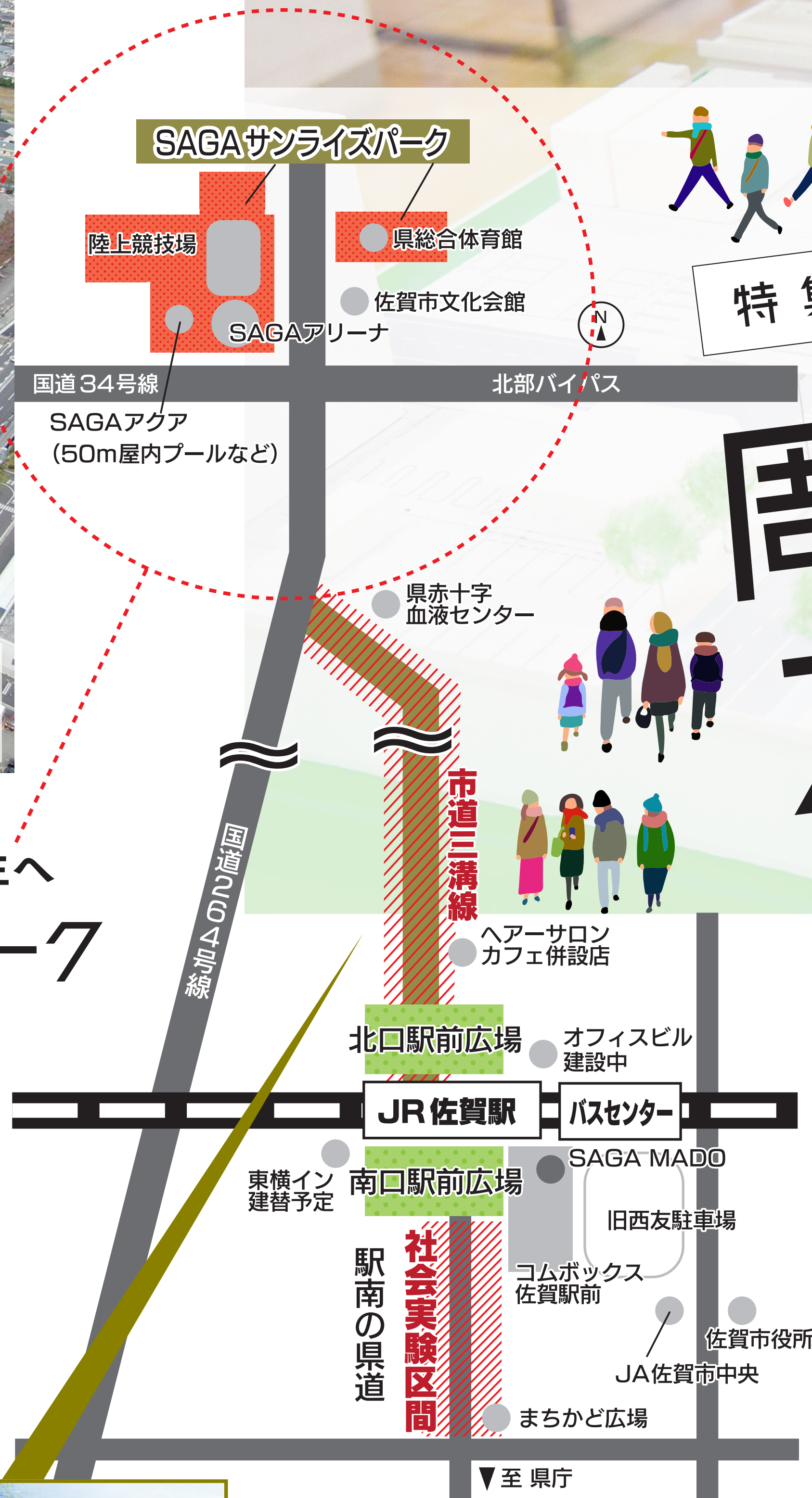
特集

佐賀駅周辺整備スタート!!



整備ロードマップ（予定）	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
整備 北口駅前広場	整備				国民スポーツ大会 全国障害者スポーツ大会	
整備 南口駅前広場（交通広場）		整備				
整備 南口駅前広場（交流広場）			整備			
整備 市道三溝線	整備（電線地中化・高質化）	整備（電線地中化・高質化）	整備（電線地中化・高質化）	整備（電線地中化・高質化）	整備（電線地中化・高質化）	整備（電線地中化・高質化）

駅周辺のにぎわい創出

JR佐賀駅周辺のにぎわいを取り戻そうと、佐賀市による佐賀駅周辺整備事業が動き出している。JR佐賀駅の現在地への鉄道高架移転以来、実に45年ぶりとなる大型事業。今回の特集では、2024年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会（SAGA2024（サガニーマルニーヨン））に向けて整備が進む模様を、佐賀市へのインタビューを含めて、エリアごとに紹介する。

整備計画では、佐賀県が進めるSAGAサンライズパーク整備と連携して、駅北口・南口の駅前広場、駅とSAGAサンライズパークを結ぶ市道三溝（みつみぞ）線を改修し、一体的にまちづくりを進めることにより生まれる波及効果を、駅南側の中央大通りにまで広げようというものだ。まずは簡単に歴史を振り返ってみたい。

現在の佐賀駅は、鉄道を高架化し、線路の下に道路を通す連続立体交差事業により、1976（昭和51）年に完成した。その後、佐賀駅周辺にはオフィスビルやホテルが建ち、近年は特に福岡都市圏への通勤・通学者の増加などを背景に、マンションなどの集合住宅が増え、人口が増加している。

佐賀市は佐賀駅周辺地区のこのような社会情勢の変化に対応し、駅周辺の魅力アップを図ろうと、2017年に佐賀駅周辺整備構想、2019年に同基本計画を策定し、駅前広場や周辺道路の整備を計画した。市は、国土交通省が推進する「ウォーカブル推進都市」になっており、メインのアクセスルートとなる市道三溝（みつみぞ）線を、居心地が良く、歩いて楽しい道路へと整備する。

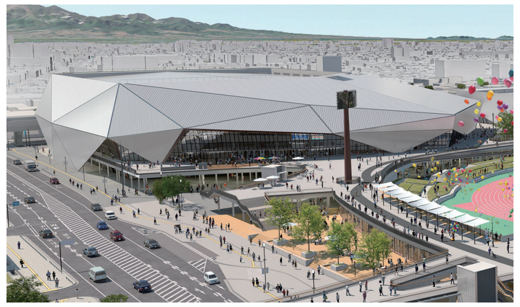
2024年の国スポ・全障スポに向け

佐賀県は2024年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催に向け、メイン会場となるSAGAサンライズパーク（総合運動場と総合体育館を併せたエリア）にSAGAアリーナ（観客席約8400席）を建設中。完成後はプロスポーツの試合や、これまで佐賀ではできなかったような大規模なコンサートなどの開催により、県内外から多くの観客が訪れることが期待されている。

アリーナ（手前）や水泳場の建設が進む「SAGA サンライズパーク」＝佐賀市日の出（2020年10月高度150mからドローンで空撮＝佐賀新聞社提供）

九州最大級の多目的アリーナ誕生へ

SAGAサンライズパーク



SAGAアリーナ完成イメージ　パース提供：佐賀県

佐賀県が佐賀市日の出のSAGAサンライズパークで、2024年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の会場になるSAGAアリーナの建設を進めている。鉄骨造り4階建てで整備費257億円。スポーツを「する」楽しみだけでなく、プロスポーツの試合のような「観る」スポーツや、コンサート、イベントなど、多種多様な用途に対応できるとしている。併せてSAGAアクア（50m屋内プールなど）の建設や陸上競技場の改修などを進め、2023年春のグランドオープンを目指している。

※SAGAサンライズパーク：佐賀を光り輝かせていくという決意を込めて、所在地の「日の出」という地名にちなみ、「SAGAサンライズパーク」と名付けた。

SAGAサンライズパーク
完成イメージ動画

駅北口の新たなシンボルロード

市道三溝線

駅北口からSAGAサンライズパークへのメインストリートとして整備される市道三溝線は、「歩きたくなる」新たなシンボルロードに生まれ変わる。現在の車道（4車線）を2車線化し、自転車レーンを新設することで安全性を向上。歩行者の多い東側の歩道を拡幅することで、休憩スポットを設けたりイベントを開いたりと多目的な楽しみ方ができるようになり、SAGAサンライズパークへ向かう期待感を盛り上げる。

パース提供：佐賀市

南口

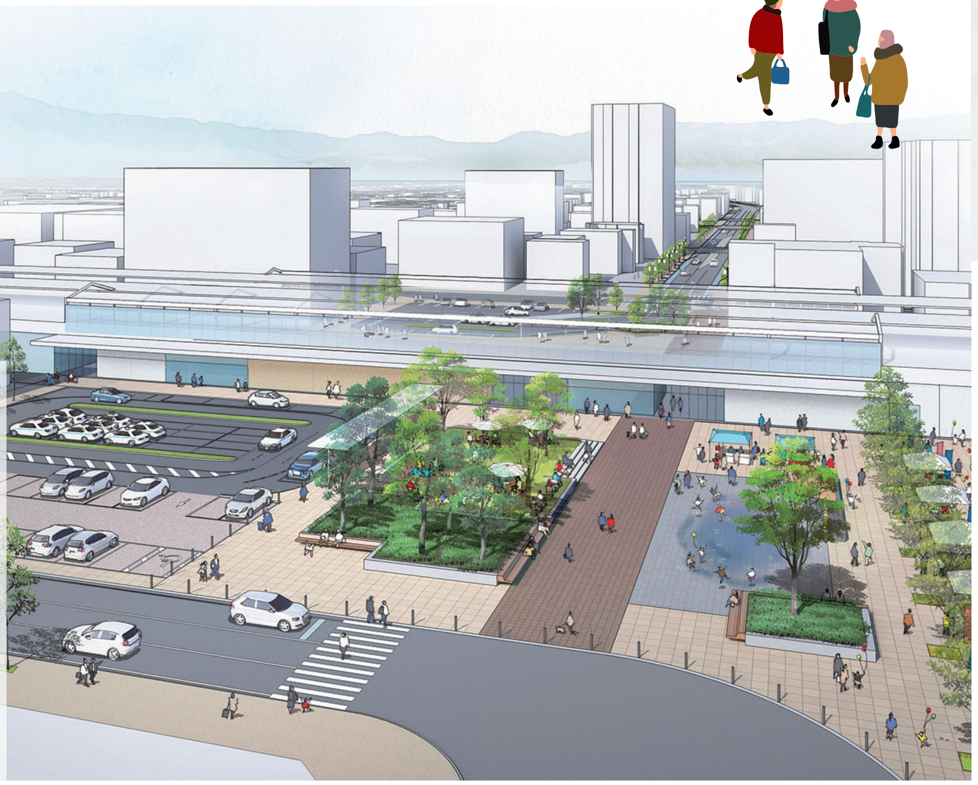
社会実験区間

にぎわい空間を検討 駅南の県道

佐賀駅南口の県道。奥が佐賀駅、右側が駅前まちかど広場＝佐賀市駅前中央1丁目

南口駅前広場の整備・利用効果が高まるように、佐賀県と佐賀市は駅前交番西交差点までの県道佐賀停車場線約200mの歩道空間を活用した社会実験を検討している。快適で歩きやすい空間を生み出すことにより、中心市街地をはじめ城内エリア方面への回遊性を高め、にぎわいづくりにつなげることが狙いだ。

イベント広場を想定 南口駅前広場


パース提供：佐賀市

南口駅前広場は、イベントの利用を想定した広場を新たに整備、イベントを楽しんだ人たちがまちなかや周辺施設へ流れるような空間を想定する。現在のタクシープールと一般車用駐車場を西側に集約、東側をイベントなどにも使える広場とし、駅舎と商業施設「コムボックス佐賀駅前」を結ぶ屋根の設置なども検討している。2021、22年度で整備予定。

「コムボックス佐賀駅前」オープン SAGA MADOが佐賀の旅提案

佐賀の観光や県産品を紹介している「SAGA MADO」＝佐賀市駅前中央1丁目のコムボックス佐賀駅前1階

駅南側の西友佐賀店跡地に2020年6月、商業施設「コムボックス佐賀駅前」がオープンした。1階にはJAのスーパーがあり、駅やバスセンターに近い買い物の場として、市民の生活を支える。また、佐賀の観光・県産品情報発信拠点となる「SAGA MADO（サガマド）」では、来訪者がどこに行きたいのかを聞き取って希望に沿った佐賀の旅を案内している。複数の外国語での対応ができるスタッフもいる。佐賀の特産品の展示・販売もしている。

北口

変則交差点を解消 北口駅前広場

パース提供：佐賀市

北口駅前広場はSAGAサンライズパークエリア方面への起点として、より利用しやすいように改修している。現在、東側にある入り口と西側にある出口を、東側1カ所に集約して変則交差点を解消。駅北口交差点の信号をスクランブル化し、歩行者・自転車のスムーズな移動につなげる。身体が不自由な人の専用乗降場や駐車場を新設し、ユニバーサルデザイン化を進める。2021年3月末終了予定。

ヘアーサロン、カフェ併設店出店 野田社長「駅北口を盛り上げたい」

2006年に男性専用のヘアーサロン『Men's Hair SPICE』を創業した佐賀市出身の野田裕樹（ゆうき）社長(39)。駅周辺整備計画を知って、2019年12月に佐賀駅から北へ約200mの市道三溝線沿いに、ヘアーサロン(5店目）とカフェ・ダイニングバー「ROUGH（ラフ）」を併設した店をオープンさせた。野田社長は「せっかくサンライズパークができるから、私も駅北口の盛り上げに貢献したいと、思い切って店を出しました」と話している。

住　所／佐賀市駅前中央 2-6-7
電　話／0952-97-5034
店休日／カフェ＝1月1、2日（基本、無休）
ヘアーサロン＝1月1～4日（月曜定休）

2021年3月完成予定 駅北口にオフィスビル

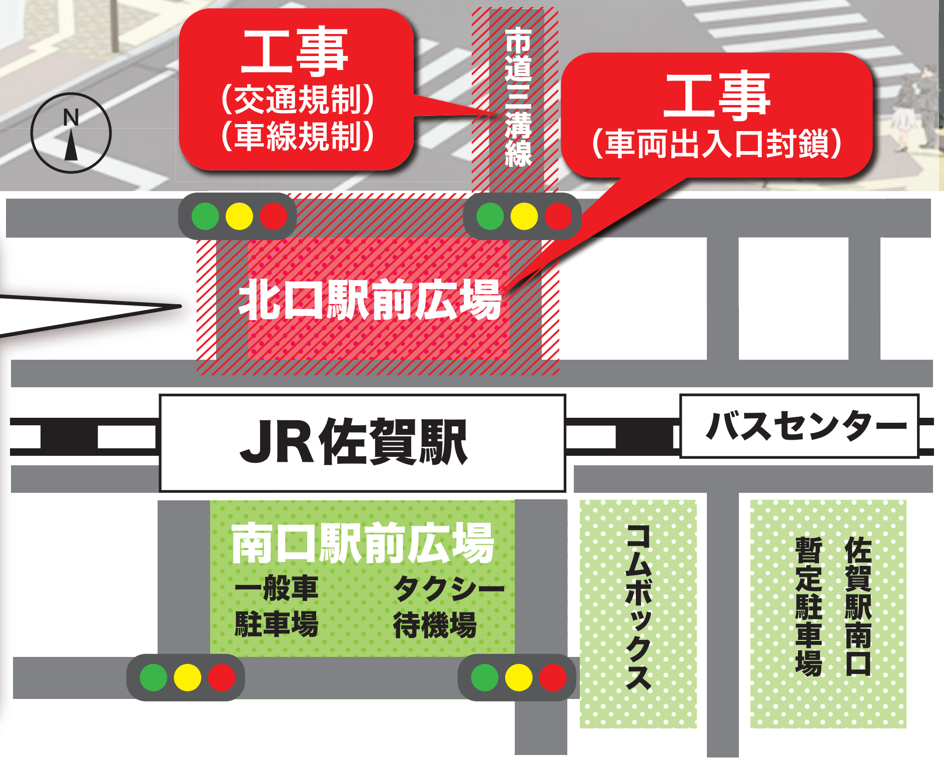
駅北口東側には、1、2階が店舗、3～7階がオフィスの「佐賀駅前ノースフロントビルディング」（仮称）を建設中。2021年3月完成予定。入居テナントを募集している。

駅北口東側に建設中の7階建てのオフィスビル

佐賀駅 北口整備中

佐賀県がすすめるSAGAサンライズパーク整備と連携し、一体的にまちづくりをすすめています。
佐賀を訪れた人に心地よい滞在時間を過ごしてもらい、リピーターを増やし、交流人口の増加を地域活性化へとつなげていきます。

完成イメージ
（駅北口広場を北側から望む）



2021年3月下旬（予定）まで
工事中のため北口広場内は全面的に車両（自家用車・タクシー）の乗り入れができません。

2021年
1月下旬～2月下旬ごろ
工事のため、一部歩道規制があります。（通行は可能です）

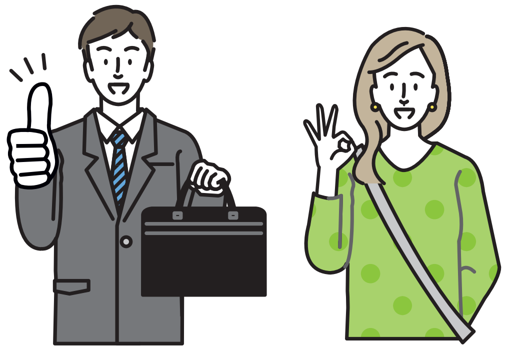
工事期間中は混雑防止のため佐賀駅をご利用の際は

公共交通機関　**佐賀駅南口**　**佐賀駅南口暫定駐車場（30分無料）**

をご利用ください

お問合せ先　佐賀市 佐賀駅周辺整備構想推進室
TEL　0952-40-7009　sagaeki@city.saga.lg.jp

佐賀駅周辺整備基本計画



Interview

歩きたくなる佐賀駅周辺に

佐賀駅周辺整備について、佐賀市の武藤英海・佐賀駅周辺整備構想推進室長にお話を伺いました。

―駅周辺整備が動き出しました。背景は？

今の佐賀駅の鉄道高架移転とそれに伴う駅周辺のまちづくりが行われたのが、前回の若楠国体があった1976（昭和51）年、今から45年前のことです。今回は、国体から「国民スポーツ大会（国スポ）」に名称変更されて最初の大会が2024年に佐賀で開かれるのに合わせて、全国から集まられるお客様のおもてなしの場、そして、人が行き交うにぎわいの場を創出しようと計画しました。

―駅北口・南口の整備イメージと活用法は？

駅北口広場は、変則交差点を解消し、スクランブル交差点とすることで、人と車の流れをスムーズにします。南口は、これまでなかった「交流広場」を、東側のコムボックス側に設け、待ち合わせ場所やイベントに利用できるようにします。ここでイベントをやってみたいとか、ここにくれば何かやっているとか、思ってもらえるような、楽しい広場にしたい。

武藤英海・佐賀市佐賀駅周辺整備構想推進室長

民間のみなさんと相乗効果で

―アリーナまでのアクセス道路の整備イメージは？

佐賀駅からアリーナに向かうメインのアクセスルートとなる市道三溝線は、車線を減らしても問題がないか、社会実験に取り組みながら、地元の方々と協議し、4車線から2車線に減らすことを決めました。車線だったところに新たに自転車レーンをつくり、歩行者と自転車を分離することで、より安全安心な歩道にします。歩行者が多い東側の歩道は現行の3.5mから5.5mに広げます。

―駅周辺の将来像は？

日常は、地元の方々などが散歩したり、ベンチでコミュニケーションを取ったりしてもらい、アリーナなどでの大規模なイベント開催時には、仮設のお店がオープンするかもしれません。三溝線沿いには空き地や空き店舗もありますから、民間投資もぜひ期待したい。すでにアリーナや三溝線整備後に人通りが増えることを期待して、三溝線沿いに新しくオープンしたお店もあります。南口エリアも含め、民間のみなさんとの相乗効果で、ワクワクしながら歩いてもらえるような空間を創出したいと考えています。

東横インホテル建て替え

駅南口のホテル「東横イン佐賀駅前」（佐賀市駅前中央）は耐震対応の建て替え工事のため、2020年2月末で一時閉館した。客室数や開業時期などは今後公表予定。

ホテル建て替え予定地（12月上旬撮影）。左は佐賀駅、奥に見えるのはコムボックス佐賀駅前＝佐賀市駅前中央1丁目

民間開発の誘導 旧西友駐車場

佐賀駅南側の旧西友駐車場は、1haもの広さがあり、駅周辺で残る唯一の広大な土地。市が一部を取得するなどして民間事業者を誘致し、民間開発を図ることを検討している。

［記事：高井　誠　　デザイン：蒲原貴子］